



## 特定秘密保護法を強行施行 全国の弁護士会が反対

12月から特定秘密保護法が施行されます。関連法が定められ、運用基準などもパブリックコメントに付されました。

ここでは冒頭に（1）法律を拡大解釈しない（2）基本的人権を侵害しない（3）報道の自由に配慮する。と3項目が「留意事項」として掲げられています。つまりこれらの恐れがあることを法律案自らが認めているということではないのでしょうか。そして多くの国会決議などが結局無視されてきたように、この抽象的な留意事項はなんら恣意的運用の歯止めになるものではありません。また秘密の対象とする55項目がありますが、防衛分野では「自衛隊、米軍の運用」、外交分野では「国際社会の平和と安全の確保」などとなっていて、防衛や外交の情報は何でも特定秘密にすることが可能になっています。

◆特定秘密の定義も、その範囲は広く、政府の解釈次第で決められてしまうため、情報公開をしない場合の妥当性を客観的にチェックすることが出来ません。政府にとって都合の悪い情報が表に出ないように、秘密の乱造につながりかねません。

◆指定を行う行政機関の長は19に限定するといいますがその分担はどうなるのか不明です。そしてこの中には厚生労働省や原子力規制委員会も入っているのです。これらが公開できない「安全保障上の秘密」の秘密というのは何でしょう。テロを警戒するのだったら列車の時刻表だって秘密になってしまいます。

◆法案の最初から指摘されている通り、何が秘密かさえ明らかにならない秘密法。その法律で訳も分からず処罰される危険。マスコミの報道統制と委縮効果。マスコミだけでなく、国会議員さえ秘密にされた事項に近づくことができなくなり、国会の機能そのものもマヒしかねません。指定された秘密事項は半永久的に秘密のベールに隠されたままになる稀代の悪法です。最初に触れた留意事項を守り、これらの適正な運用の管理をする責任者はなんと総理大臣?? 「福島原発の汚染水は完全にコントロールされている」とオリンピック招致委員会で国際的に大ウソを言っただけの内閣総理大臣です。

## 翁長さん圧勝！ オール沖縄県民の怒り



全国どころか国際的にも注目の沖縄知事選で、翁長さんが当選しました。半世紀を越えて犠牲を強いられてきた県民のオール沖縄の怒りです。様々な甘言を駆使し、金をばらまいた政府側の工作も功を奏しませんでした。

しかし新知事の誕生前に仲井真知事が県民を裏切って普天間基地の名護移転を承認してしまったため、今後の困難が待ち構えています。すでに新基地建設工事が強引におし進められています。普天間の基地返還と名護の新基地建設中止を実現するために全国の支援が引き続き大切です。

## 日米防衛協力ガイドライン見直し 動き出す集団的自衛権

10月8日政府はガイドラインの見直し中間報告を公表した。序文で「日米両国の閣僚は……日本の安全に対する同盟の揺るぎない決意を再確認し、アジア太平洋地域における平和と安全の維持のために日米両国が果たす不可欠な役割を再確認した。閣僚はまた、同盟がアジア太平洋及びこれを越えた地域に対して前向きに貢献し続ける国際的な協力の基盤であることを認めた。」と「グローバル同盟」をめざすことを表明。自衛のためどころか、1997年のガイドラインで、すでにアジアに広げ、今回さらに「越えた地域」にまで拡大し、「周辺事態」というグレーゾーンをなくし、日本に対する武力攻撃がない場合でも日米で手を携えて世界のどこへでも行くぞということを宣言しています。これぞ集団的自衛権。



詩「平和の申し子たちへ！」  
泣きながら抵抗を始めよう

(なかにし礼)

二〇一四年七月一日火曜日  
集团的自衛権が閣議決定された  
この日 日本の誇るべき  
たった一つの宝物  
平和憲法は粉碎された  
つまり君たち若者もまた  
圧殺されたのである  
こんな憲法違反にたいして  
最高裁はなんの文句も言わない  
かくして君たちの日本は  
その長い歴史の中の  
どんな時代よりも禍々(まがまが)しい  
暗黒時代へとどって行く  
そしてまたあの  
醜悪と愚劣 残酷と恐怖の  
戦争が始まるだろう  
ああ、若き友たちよ！  
巨大な歯車がひとたびぐらっと  
回りはじめたら最後  
君もその中に巻き込まれる  
いやがおうでも巻き込まれる  
しかし君に戦う理由などあるのか  
国のため？ 大義のため？  
そんなもののために  
君は銃で人を狙えるのか  
君は銃剣で人を刺せるのか  
君は人々の上に爆弾を落とせるのか

若き友たちよ！  
君は戦場に行ってはならない  
なぜなら君は戦争にむいてないからだ  
世界史上類例のない  
六十九年間も平和がつづいた  
理想の国に生まれたんだもの  
平和しか知らないんだ  
平和の申し子なんだ  
平和こそが君の故郷であり  
生活であり存在理由なんだ  
平和ぼけ？ なんとでも言わしておけ  
戦争なんか真っ平ごめんだ  
人殺しどころか喧嘩(けんか)もしたくない  
  
たとえ国家といえども  
俺の人生にかまわないでくれ  
俺は臆病なんだ  
俺は弱虫なんだ  
卑怯者(ひきょうもの)？  
そうかもしれない  
しかし俺は平和が好きなんだ  
そのどこが悪い？  
弱くあることも  
勇気のいることなんだぜ  
そう言って胸をはれば  
なにか清々(すがすが)しい風が吹くじゃ

ないか  
怖(おそ)れるものはなにもない  
愛する平和の申し子たちよ  
この世に生まれ出た時  
君は命の歓喜の産声をあげた  
君の命よりも大切なものはない  
生き抜かなければならない  
死んではならない  
が 殺してもいけない  
だから今こそ！  
もっともか弱きものとして  
産声をあげる赤児のように  
泣きながら抵抗を始めよう  
泣きながら抵抗をしつづけるのだ  
泣くことを一生やめてはならない  
平和のために！

作詞家「なかにし礼」は一貫して「脱原発」を主張し続け、「秘密保護法」や「集团的自衛権」に、日本の危機を訴えてきました。少し時間がたちましたが、7月10日の毎日新聞(夕刊)の「特集ワイド」に掲載された彼の詩を転載させていただきます。  
なかにし礼が若者に贈る詩です。

## 時間が止まった被災地 福島に改めて東電に怒り

11月28日、流山の新日本婦人の会の原発被災地視察のバスツアーに参加させていただきました。

以前に白河や磐城までは行ったが今回初めて榎葉町、富岡町まで行くことができた。詳細を報告するスペースはないが、富岡駅では津波で駅が丸ごとなくなり、周辺の家の中には車が突っ込んだり、ひっくり返ったままだったりしている。二階まで窓が破れたり、完全に破壊された家、エアコンの室外機が異様に折れ曲がって窓に張り付いている、店の中はピヤダルや鍋釜などあらゆるものが散乱。これ自体は津波の恐ろしさを物語る。しかしそれ以上にひどいと感じたのは3年以上たった今もそれがそのまま手つかずだということ。そのシンボルのように、ある美容室の時計はあの日、あの時のまま止まっている。放射能のため人も入り続けることができず、整理しようにも、放射能を帯びたものは一切持ち出すことができないためだ。駐車場にずらりと並んだ立派な車、新しく立てた家。すべてが見捨てられたよ

うに時間が止まっている。静かな恐怖でした。

道すがら、あちらこちらに建てられ結構新しい住宅、田んぼには今の季節らしく収穫の後の切り株、東北の農村らしい風景が続く……と見えたのは実は住宅は原発の事故対策や津波災害の復興のために全国からきている作業員の宿舎(民家も)、普通の田んぼと見えたものも、米づくりにわずかの希望をつないで、田を荒らさないために、放射能で食べられないコメを栽培しては廃棄しているのです。先祖から永年暮らし続けた人々の生活はなく、補償のない津波の被害者といくばくかの賠償金の支給されている人との間に起こっているねたみなどの切ない話。全く先の見通しのない荒廃をただ見るしかない人々の口惜しさ、憤りを感じた一日でした。(石林)

## 12月の定例駅宣

12月9日(火)は「おたかの森駅」

15:30~16:30です

寒くなります。対策を怠らぬにご参加ください。

\*\*\*\*\*

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会流山